

大月市賑わいづくり社会実験 企画書 (案)

事業の 名称	おもてなしストリート事業
事業の 目的	<ol style="list-style-type: none"> 1. 商店街の賑わいづくりのコンセプトである「おもてなしマインド」を浸透させることにより、商店街のイメージアップを図る。”この街が好き”という市民や来街者など「商店街のファン」を作ることにより、来街者のリピート率を上げ、個店の売上増加を図る。 2. 来街者（特に高齢者、観光客）にやさしい街づくりを目指し、街を散策する良さを感じてもらうことにより、購買率の向上につなげる。
主 体	商店街、学生、NPO、行政、駅周辺住民（小俣孝）
対 象	来街者（①近隣住民50%、②市内住民30%、観光客20%）
期 間	平成23年6月～11月
内 容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「おもてなしマインド」作戦 <ol style="list-style-type: none"> ①「おもてなしステッカー」の作成・掲示 商品お届け、送迎、トイレ貸し出し、湯茶接待、街めぐり案内、逸品、ユニーク商品、ユニーク店主（逸人）などをステッカーで表示し、玄関等人目に付きやすい所に掲示する。 ②「街めぐり案内」の実施 散策マップ（ステッカー掲示店、ベンチ設置位置を記入）、ビューポイントマップ等により、来街者がスムーズに目的地に行けるようにする。 2. 「おもてなしベンチ」の設置 街を訪れた、高齢者などが休む場所のないことから、誰でもいつでも利用できるベンチを設置し、来街頻度を上げる。 <ol style="list-style-type: none"> ①駅周辺、歩道、オープンスペースへ設置（30～50台） ②ベンチの製作は、甲斐東部材、シオジの森等へ依頼する。 ③ベンチには、「月」のレリーフを取り付ける。 このレリーフのデザイン・製作は公募し、決定する。
作成する資料	
概算費用	
目 標	・「おもてなしマインド」を、商店街・近隣住民に浸透させることにより、来街者に対して「大月」のイメージアップを図り、リピート率を向上させる。
評 価 項 目	<ol style="list-style-type: none"> 1. お客様の声やアンケートなどにより、来街者の意見を取りまとめる。 2. 来街者のリピート率向上による売り上げの増加 3. ベンチ設置数と利用率 4. アンケートの回答、マスコミ露出数 5. ミステリーショッパー（モニター）による「おもてなし度」評価
そ の 他	<ol style="list-style-type: none"> 1. 本事業実施に併せ、現在行なわれている①街路の景観整備（クリーン作戦（毎月実施）、花いっぱい運動） ②「笑顔であいさつ」の、実践を推進する。 2. おもてなしベンチの、設置場所の確保が課題